

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	文書処理ソフト利用技術 (Word Processing Software Application Technology)					担当教員	坂井 一貴 (サカイ カズタカ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/ 資格対応科目
	2036-0-23-078	専門科目	選択	4 単位	2 年次	前期②		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	
	—	—	—	—	—	—		

① 授業のねらい・概要
文書を作成する際に用いられる文書処理ソフトを利用した文書作成能力は、ビジネス現場においても必須の技能として必要とされる。文書処理ソフトを用いた実務的な能力としては、文字入力の手速や正確さだけでなく、視覚的に優れ、一度作成したデータを再利用するなどの汎用性や効率性を考慮した機能性にも優れる資料データの作成能力が求められる。 そこで本授業では、Microsoft Word を用いてビジネス社会のニーズに応えることのできる文書処理ソフト利用のための知識・技能を学ぶ。なお、本授業は「Word 文書処理技能認定試験 1・2 級」に対応している。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
本授業は、Microsoft Word に関する知識を講義形式で、実技を演習形式で進めていく。演習については、基本的にテキストの演習問題に沿って進めていくため、テキストは必ず購入して授業に持参すること。 また、Microsoft 365, または Microsoft Office2021 がインストールされたノートパソコンを毎回持参すること。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
コンピュータリテラシー 1 の単位修得していること、または同等の能力を有すること。
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会(2022) 『Word 文書処理技能認定試験 1・2 級問題 (2021 対応)』サーティファイ
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
株式会社ウイネット(2023)『Word2021 クイックマスター(応用編)』ウイネット
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
受講開始にあたってはコンピュータリテラシー1の内容に加え、Windows やブラウザ、Google Workspace の各種機能の基本的な操作がスムーズに扱えるようしっかりと復習しておくこと。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 【知識】 Microsoft Word に関する機能を具体的に説明することができる。 (ii) 【技能】 Microsoft Word に関する機能を自ら考えて利用することができる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 【知識】 …説明することができる	検定1級水準の機能についてどのような機能かを具体的に説明できる。	検定2級水準の機能についてどのような機能かを具体的に説明できる。	検定2級水準の機能について出題問題から適切な回答を選択することができるが、一部しか具体的に説明できない。	検定2級水準の機能について出題問題から適切な回答を選択することができる。	検定2級水準の機能について出題問題から適切な回答を一部の機能しか選択することができない。
(ii) 【技能】 …利用することができる	検定1級水準の機能についてレポート・修了レポート等で自ら考えてその機能を適切に利用することができる。	検定2級水準の機能についてレポート・修了レポート等で自ら考えてその機能を適切に利用することができる。	検定2級水準の機能について簡単な指示で、自ら適切な設定を考えその機能を適切に実行できる。	検定2級水準の機能について詳細な問題文指示があれば、その機能を適切に実行できる。	検定2級水準の機能について詳細な問題文指示があってもその機能を実行できない。

(参考: 具体的機能)	1 級機能例) 目次, 注釈, 参考文献, 文書校正, 変更履歴 2 級機能例) 段落, タブとリーダー, 傍点, 文字飾り, ルビ, 囲い文字, 拡張書式 (縦中横, 組み文字) 段組, 箇条書き, 段落番号, ドロップキャップ, ページ設定 (奇偶頁別, 文書途中から開始, I, ii&1, 2…併用), セクション区切り, 等
-------------	--

⑩ 学習到達目標 (評価項目)	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		50%				100%
(i) 【知識】…説明することができる			20%				20%
(ii) 【技能】…利用することができる	50%		30%				80%
フィードバックの方法	課題については, 模範解答例を提示する.						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間 (分) (※特別な持参物)	
1	Word の基本設定とその復習, 複数ページにわたる文書作成 (1) 「2 級 実技練習問題 1 デジカメプリントサービス」	教科書該当箇所を熟読し他者に説明できる水準 で理解をする. (以下: 「教科書の熟読と理解」) 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	180 分
2	複数ページにわたる文書作成 (1) 「2 級 実技練習問題 1 デジカメプリントサービス」	教科書の熟読と理解 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	180 分
3	オブジェクトを多用する文書作成 (1) 「2 級 実技練習問題 2 ペットと楽しく生活する」	教科書の熟読と理解 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	180 分
4	オブジェクトを多用する文書作成 (2) 「2 級 実技練習問題 2 ペットと楽しく生活する」	教科書の熟読と理解 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	180 分
5	SmartArt を用いた文書作成 「2 級 実技練習問題 3 サマーキャンペーン」	教科書の熟読と理解 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	180 分
6	これまでの 2 級水準の知識・技能の振り返り 2 級の模擬問題の実施	教科書の熟読と理解 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	240 分
7	高度な文書作成 (1) 「1 級実技練習問題 1 食について考える」 2 級テーマ別知識問題 1--2	教科書の熟読と理解 2 級テーマ別知識問題 1--2 の実施 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	240 分
8	高度な文書作成 (2) 「1 級実技練習問題 1 食について考える」 2 級テーマ別知識問題 3--4	教科書の熟読と理解 2 級テーマ別知識問題 3--4 の実施 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	240 分
9	差し込み文書を用いる文書作成 「1 級実技練習問題 2 就職ガイド」 2 級テーマ別知識問題 5--6	教科書の熟読と理解 2 級テーマ別知識問題 5--6 の実施 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	240 分
10	背景まで彩色した文書作成 「1 級実技練習問題 3 快眠のすすめ」 1 級テーマ別知識問題 1--3	教科書の熟読と理解 1 級テーマ別知識問題 1--3 の実施 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	240 分
11	これまでの 1 級水準の知識・技能の振り返り 1 級の模擬問題の実施 1 級テーマ別知識問題 4--5	教科書の熟読と理解 1 級テーマ別知識問題 4--5 の実施 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	240 分
12	これでの学修を基にした総合的な課題 (1) 「入試日程一覧表を日付を揃えて作成するという業務」 1 級テーマ別知識問題 6--7	これまでの学修で理解不足な箇所の確認 1 級テーマ別知識問題 6--7 の実施 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	300 分
13	これでの学修を基にした総合的な課題 (2) 「修了レポートの様式を構築する」 ページ設定, スタイル設定, 見出し+目次自動設定 など	これまでの学修で理解不足な箇所の確認 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	300 分
14	これでの学修を基にした総合的な課題 (3) 「修了レポートの様式を構築する」の解説と振り返り	これまでの学修で理解不足な箇所の確認 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	300 分

15	総合的なまとめ，実技試験前の演習	これまでの学修で理解不足な箇所の確認 授業実施範囲の各種機能の確認および振り返り	300 分
----	------------------	---	-------

⑫	アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。 毎回のリフレクションシートによって理解度を確認し，それによって翌週の授業でコメント，または反復学修を行う。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑬	実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	